平成 31 年度　府立登美丘高等学校　外国語科（英語）　シラバス（指導と評価の年間目標）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現 II	2	第 2 学年	DUAL SCOPE English Expression Ⅱ DUAL SCOPE English Expression Ⅱ ワークブック DUAL SCOPE 総合英語

1.　担当者からのメッセージ

○　英語表現 II の授業は、4 技能を身に着けると共に 1 年で学んだ文法事項をさらに定着させる授業です。、積極的に授業内の活動に取り組み、文法のインプット、アウトプットをしっかり行いましょう。

○　定期テスト以外にも、授業内で実技テスト（Speaking と Writing）をおこないます。定期考査と同じ重みをもったテストで、成績にも大きく影響します。毎回、きちんと取り組むように。

2.　学習の到達目標

【第 2 学年】履修科目：「コミュニケーション英語 II」（4 単位）「英語表現 II」（2 単位）

主な教材：上記、及び「コミュニケーション英語 II」のシラバス記載の通り

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
興味・関心のあることについて自分の考えを述べることができる。買い物や道案内、説得など、目的を遂行するために英語で会話することができる。また、写真やイラストで示された状況を説明することができる。	コミ英Ⅱ スピーキングテスト 英語表現Ⅱ スピーチ	理論構成を意識して、自分の意見を 100 語程度のまとまった英文で表現することができる。	コミ英Ⅱ ライティングテスト 英語表現Ⅱ 定期考査	アルク SVL３レベルの語彙が用いられた 160wpm程度で話される会話や説明・指示の概要を理解することができる。	コミ英Ⅱ 定期考査	アルク SVL４レベルの語彙が用いられた英文を読んで、行間を読み取ったりすることができる。広告やメール文など、多様な文章を読むことができる。	コミ英Ⅱ 定期考査 英語表現Ⅱ 定期考査

3.　学習評価

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	スピーキング課題の際の姿勢や声の大きさ、ライティング課題の際の字の丁寧さなどを客観的に評価する。	CAN-DO リストの「話すこと」「書くこと」記載の事項について、パフォーマンステストにおいて評価する。	CAN-DO リストの「聞くこと」「読むこと」記載の事項について、定期テストにおいて評価する。	定期テストにおいて、単熟語・文法などの知識を評価する。単複など、日本語と英語の表出における差異を理解できているかなども評価する。

４．【年間指導計画】上記学習目標を当該教科で指導する計画を記載のこと。

〔学年・学科〕 第２学年 英語科 〔科目（単位数）〕英語表現Ⅱ（２単位） 〔教科書・教材〕DUAL SCOPE English Expression Ⅱ DUAL SCOPE English Expression Ⅰ ワークブック DUAL SCOPE 総合英語

学期	単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の 評価規準	評価方法
１学期	UNIT 1 UNIT 2 UNIT 3 （6時間）	・非人称のit ・句・節/意味上の主語 ・無生物主語/名詞構文	様々な主語の適切な使い方を理解する。	・自分の町の紹介文についてのT/Fを聞き取る。 ・簡単な質問についてペアで会話し、自分の意見をまとめる。	相手に伝わるように話している。自分の意見を書いている。	・観察評価 ・ワークシート ・定期考査
	UNIT 4 UNIT 5 UNIT 6 UNIT 7 （8時間）	・時制 ・進行形/完了形 ・助動詞/受動態 ・仮定法	時制を理解する。動詞の正しい使い方を理解する。	・表現を内在化する。 ・仮定法を用いてペアで質問しあう。	ペアでやり取りができる。	・スピーキングテスト ・定期考査
２学期	UNIT 8 UNIT 9 UNIT 10 UNIT 11 （10時間）	・準動詞 ・文型 ・使役動詞/知覚動詞 ・分詞/不定詞/同格	準動詞を理解する。文の構造を理解し、文型の違いを見極める。	・音声を聞いて、使役、知覚動詞を理解する。 ・イラストを見てペアで状況を説明できるようにする。	音声を理解することができる。ペアでやり取りができる。	・スピーキングテスト ・ワークシート ・定期考査
	UNIT 12 UNIT 13 UNIT 14 UNIT 15 UNIT 16 UNIT 17 （10時間）	・関係詞 ・目的、程度、結果、原因、理由、譲歩の表現	関係詞を理解する。目的、程度などを表現したり、理解したりする。	・目的を表す表現を内在化する。 ・ペアで将来の夢をたずねあう活動をする。	理由付きで目的を説明することができる。	・観察評価 ・定期考査
３学期	UNIT 18 UNIT 19 UNIT 20 UNIT 21 UNIT 22 UNIT 23 （14時間）	・比較 ・条件/仮定の表現 ・否定の表現 ・パラグラフの構成	比較の表現を理解する。条件や仮定の表現などを用いて実際にまとまった英文を書くことができる。	・モデルを参考に自分の尊敬できる人物について英語で書く。 ・それを相手に伝わるように英語で発表する。ペアを入れ替えながらおこない、自然と内在化させる。 ・ペアの言ったことを書いてまとめる。	積極的に参加している。ペアの英文を聞き取り、それをまとめている。	・観察評価 ・ワークシート ・定期考査
春休み	UNIT 24 ～ UNIT 33	・パラグラフの書き方	2年次に学んだ表現を用いてまとまったパラグラフを書ける。	左ページの英文、説明を読み、パラグラフの書き方を理解する。	与えられたトピックについて英文を書ける。	・春期課題